

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成29年11月定例会の内容をお届けします。

2018
No. 62

平成30年2月15日発行



特集

子育て支援グループ
「まいせるふ」
と
市議会

特集

子育て支援グループ 「まいせるふ」と 市議会

「お父さんだって子育て講座」
主催者（まいせるふWithおやじーず）
と
受講者の皆さんに
お話を伺いました



講座スタッフのみなさん

今回は、私たちが

子育て世代を応援していきましょー！

主催者「まいせるふ」代表の杉本さんと杉村さんは、市が主催した乳幼児講座で知り合って以来の友人。20年前、子どもが手から離れ、「今度は私たちが子育て世代を応援できないか」と、年間10回程度のペースで育児・食育・遊び方・読み聞かせ・日常で思っていることのフリートークなどを行う自主学習グループ「いきいき子育て勉強会」を始めました。その後、市の援助を受けて子育て講座を運営するようになりました。

《今回の講座を開くきっかけは？》

・以前の講座のときに、ママからの「もっとパパに育児参加してほしい」との声をたくさん聞いたので計画しました。

《今回はどんな企画ですか？》

・夏に行った流しそめんの講座が好評だったので、今回はリース作りとアンパンマン風の巨大あんぱん作りを計画しました。おやじーずにも協力してもらい、竹製キャンドルスタンドも作製しました。

——お父さんたちにも聞きました——

《参加してみてもどうですか？》

・普段、子どもと遊ぶ時間をなかなか取れずにいますが、久しぶりに子どもと遊ぶ時間が取れ楽しく過ごせました。
・工作は苦手ですが、久しぶりにのこぎりを持ち懐かしい感じがして良かったです。
・同じ世代の人と知り合えて良かったです。
・親子で参加できる行事が少ないので今回のような講座はうれしいです。



- ・またぜひ参加したいです。
- ・家でもできる遊びを紹介してもらったので家に帰ってやってみようと思います。
- ・このような講座が島田にあつてうらやましいです。(他市在住者)

《普段はどこで遊んでいますか?》

- ・近所の元島田公園や中央公園です。
- ・近所に公園がないので蓮華寺池公園や吉田町の公園に行きます。
- ・こども館で遊びます。砂場がなくなって残念です。

最初は少々緊張気味なパパたちの表情が、子どもと遊び始めた途端、いい笑顔に変わっていったことが印象的でした。

親子ともども、触れ合いが一番心地よい時間なのでですね。子どもと体当たりで遊べる時期は、わずかなものです。

遠いテーマパークに出掛けることも楽しいけれど、忙しい日々の中で、たとえ10分でも、集中して「真剣に」子どもと遊んだ時間が忘れられない思い出になるものかもしれません。今回の講座はそれを教えてくれた貴重な体験になったと思います。

『まいせるふ』に感謝。
そして、パパ頑張つて！

定例会 の 概要

一般会計1億6931万9千円を増額

10の条例改正など可決

平成29年第4回定例会が、11月22日（水）から12月19日（火）まで、28日間の会期で開催されました。

11月22日（水）本議会初日 21議案上程

平成29年度各会計補正予算（一般会計1件・特別会計6件・病院事業会計1件）のほか、条例案1件、条例改正案など4件、一般議案8件を上程し、各常任委員会へ付託審査することを確認しました。

12月1日（金）～5日（火）本会議（一般質問）

17人の議員が一問一答による一般質問を行い、当局の考えについて各議員が質問や提案をしました。

（8～16ページ）

12月6日（水）本会議（議案質疑）

9人の議員が平成29年度各補正予算案および条例・条例改正案・一般議案などの詳細について質問をしました。

（5ページ）

12月7日（木）～8日（金）常任委員会の議案審査

厚生教育・経済建設・総務生活の各常任委員会がそれぞれ半日ずつ開催され、付託された議案審査を行いました。厚生教育常任委員会では、議案審査以外で田代の郷整備事業（仮称）について、後日全員協議会にて当局より再度に説明することを確認しました。

（6・7ページ）

12月19日（火）本会議最終日 追加議案上程12件 計33議案可決

3常任委員会での審査内容と結果について各委員長が報告しました。市長専決処分による報告1件、平成29年8月の人事院勧告により国家公務員の給与引き上げが行われたことを受け、島田市においても国と同様に市職員などの給与の改正を行う条例の一部改正の12件が追加上程されました。定例会初日に上程された21件と合わせて、33議案が全員賛成で可決されました。

Pick up 1 中古住宅購入奨励金の活用状況は？

Q これまでに中古住宅購入奨励金を活用した世帯の件数は。

A 交付済みが5世帯、交付予定が3世帯ある。そのため341万7000円を補正増額する。

Q 市内の空き家の件数と年間の売上の件数は。

A 住宅件数3万8000件の内空き家は4470件で、年間売買件数は平成28年度が176件である。

Q 中古住宅活用促進事業が空き家の解消、子育て世代の定住化に貢献しているか。

A 空き家の利活用、移住、定住、地域の活性化が図られた。

Pick up 2 生活保護扶助費の増加理由は？

Q 平成29年度の生活保護世帯数と人数、その内訳は。

A 平成29年10月末で、生活保護世帯数は263世帯で、340人であり、内訳は高齢者世帯が136世帯、傷病者世帯が38世帯、障害者世帯が33世帯、母子世帯が14世帯、その他世帯が42世帯である。補額の内訳は、生活扶助費等が2202万1000円、医療扶助費が5020万9000円、介護扶助費が174万7000円である。

Q 医療扶助費が特に増えている理由は。

A 医療扶助費の6割以上を入院医療費が占めている。

Pick up 3 下水道ストックマネジメント事業とは？

Q この事業はどのような内容か。その目的は。

A 下水道施設全体の現状を調査し、長期的な状態を予測することで計画的かつ効率的に管理するための計画を策定する。また、策定されない国庫補助の対象にならないため補正をお願いする。

Q 今後どのように進めるのか。

A 浄化センターの処理能力は日に6900立方メートルであるが、300立方メートル程度しか使われていない。平成38年度までに100ヘクタール区域を拡大する。

Pick up 4 しまだ音楽広場施設の管理方法は？

Q 当該施設の管理方法および休業日は。

A 将来的には指定管理者に任せると当面は直営で管理業務を委託して行う。休業日は条例施行規則で定めるが、火曜日にする予定である。

Q 屋内公園スペースは当条例で適用されるか。また、いつ、どのような形で公表されるか。

A 屋内公園スペースは本条例の適用範囲外となり、(株)まちづくり島田が管理する。広報しまだの2月号、市のホームページでお知らせする。

常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属し議案審査に当たります。11月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

厚生教育常任委員会

モンゴル民族音楽

コンサート開催

平成29年度

一般会計補正予算

●債務負担行為補正について

A Q コンサートの開催日は、平成30年5月18日に開催予定。2月下旬からチケット販売を予定している。

●生活保護扶助費について

A Q 世帯主の年齢別世帯数は、平成29年10月末現在、40歳未満は12世帯、40から59歳は60世帯、60から74歳は122世帯、75歳以上は68世帯である。

指定管理者の指定

●川根文化センター指定管理者の指定

Q 今回も応募団体が1団体だがなぜか。

A 県内に広く募集をしているが、地域性から他の応募

募がなかった。

その他

●新市民病院建設事業について

Q 建設業者が利用する駐車場はどうするのか。

A 技術提案の中で各社の考えを聞く。業者の利用する駐車場は工事側が用意するようにお願いしているが、当局としても場所の提案はしていきたい。



アサル国際馬頭琴アンサンブル

経済建設常任委員会

ぴ〜ファイブ夜間

音楽練習可能に

平成29年度

一般会計補正予算

●田代の郷温泉管理運営経費

Q 1000万円を超える増額補正の内容は何か。

A 県の保健機関の指導の下、源泉の泉質がアルカリ性であるため、より効果的な消毒効果のあるモノクロラミン消毒を行う設備を導入する。

●農業用施設災害復旧事業

Q 財源組替えの内容は。

A 相賀地区の滝田頭首工災害復旧工事を9月補正にて一般財源で計上したが、国による災害査定を受け、国庫補助金1411万2000円が受けられることになった。

●しまだ音楽広場条例

Q ぴ〜ファイブの一部を音楽施設として使用する条例だが、18歳未満の利用、また深夜の利用についてどうなっているか。

A 18歳未満だけの深夜の利用は制限する。深夜は予約が入っていれば0時まで利用でき、管理者を置いて管理する。予約が無ければ閉めて管理する等、規定で定めていく。



改装工事が進められるぴ〜ファイブ

川根地域8施設、地元へ譲渡

平成29年度

一般会計補正予算

Q 市民活動中間支援委託の内容は。

A

市民活動センターの中間支援業務の委託である。3年間補助金があるが、1年行ってみて見極めや新たな運営方法を探る。

Q 平成30年度のコミュニティバス運行経費が増えているが原因は。

A

川根温泉線を2往復増便する。それに伴って影響が出る向谷から島田駅の区間を補完するため、向谷車庫から島田駅まで走らせることになる。

川根地域の多目的集会所等8施設を指定管理者へ譲渡

Q 施設等の譲渡に当たって、土地は市の物という所がある。地域との話し合いは十分なされているか。

A



無償譲渡される川根地域交流センター

A

10年間は無償貸与である。その先についても引き続き無償貸与の方向で考えている。

Q

大規模修繕や改修というときにはどうなるか。

A

島田市公会堂整備事業補助金の交付要綱に沿って修繕等を実施していく。

Q

いずれは老朽化して解体となるが費用は。

A

解体時の費用は地元負担となる。補助金も該当がない。

特別委員会県外視察

視察報告

議会だより編集に関する特別委員会

「議会だより」のさらなる充実を求めて

● 8月23日 愛知県犬山市

「いぬやま市議会だより」がスマートフォンアプリでも閲覧

「いぬやま市議会だより」

は、今リニューアルの最中で、白黒印刷からフルカラーに、表紙のタイトルも市民から募集をして一新を図る計画です。

より多くの、そして若い層にも「議会だより」を読んでもらうために、平成29年4月からスマートフォンアプリ「マチイロ」を導入しています。登録されている全国の自治体の情報を無料で閲覧できるこのアプリを、今後、島田市議会でも検討していきます。

● 8月24日 岐阜県可児市

リニューアル後の表紙タイトルは「議会のトピックス」

可児市は、はまだ議会だよりリニューアルのきっかけと



犬山市での視察の様子

なった東京都あきるの市議会だより「ギカイの時間」の編集方法を手本としているため、読みやすくわかりやすい紙面づくりをしています。ページ数は16から18ページのフルカラー印刷となっています。表紙のタイトルは、「議会のトピックス」。これは、議会ホームページのタイトルと同じです。議会改革でも先進的な取り組みをしている可児市から、今回も多くを学んできました。

市長に質す^{ただ}！

一般質問

Q&A

市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に「一般質問」を行います。

島田市議会11月定例会では、17議員が個人質問を実施しました。全議員が一問一答方式（議員が一つの質問をし、市長等も一つずつ答弁する方式）を選択し、50分間の制限時間の中で質疑を行いました。

今号では、17議員の個人質問の内容の一部を紹介します。興味を持った質問はありますか？

一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。録画映像はパソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも見ることができます。

このQRコードからどうぞ！



子育て・保育の支援を平等に



伊藤 孝 議員

Q 平成30年度の幼児教育体制の整備状況は。

A 4つの幼稚園が認定こども園となる予定。認定こども園化による保育部の定員は、島田学園付属幼稚園が84人、中央幼稚園が80人、五和幼稚園が30人、伊久身幼稚園が9人、合計で203人の定員拡大が図られる。小規模保育所が道悦地区に11人の定員で4月開所、阿知ヶ谷地区に19人の定員で6月開所を予定して準備が進められている。

Q 近くの保育園への入所を希望している人が多い。昨年度、旧六合公民館跡地への保育園建設が計画されていたが、その後どうなっているのか。

A 旧六合公民館跡地への保育所建設については、「さらなる検討のお時間をいただくことになさせていただきます」と六合地区の自治会長・六合コミュニティ委員会会長・六合小学校・六合福祉会の皆さま方へは変更について



一時保育の様子

説明をさせていただいた。**Q** 待機児童がゼロ・潜在待機児童もなくなる状況に整備されるまでの間、一時保育を利用する方に対して無料券を配布する等の検討はできないか。

A 働いている母親を支援するだけでなく、家で一生懸命子育てをしている母親たちにはしっかりと支援の手を差し伸べる体制をとっていききたいと思っている。

ダイオキシンの 飛散から市民を守れ



ひらまつよし のり
平松吉祝 議員

Q 旧阿知ヶ谷焼却場内で大きな爆発音とともに煙が出た。一報が入った時刻はいつか。

A 8月26日午前8時32分である。

Q 誰が通報を受け現場に行ったか。

A 環境課係長が受け、課長、担当係長、担当職員が対応した。

Q 消防車は来なかったが通報は。

A 通報はしていない。

Q 今も現場確認できないか。

A 建屋内部の腐食が大変激しく、二次災害の危険も想定される。

Q ドローンでの確認は行ったのか。

A 行っていない。

Q 警察の実地検証の調書はあるか。

A 現場検証を行っているが、異常がないので検証等の書類はない。

Q 耐震はできているか。

A 昭和56年の建築基準法（新耐震基準）の適用は受けていない。

Q 解体費用はどのくらいか。

A おおよそ4億から5億円である。

Q ダイオキシン類の飛散が懸念される。どう考えているか。

A 通常の状態ではダイオキシン類が

飛散することはない。

Q 結果として、原因を特定できない、耐震もできていない、職員の安全の確保もできていない、解体したいが費用がない、議会に報告がない、地元住民に説明もない、これは大変な事態ではないのか。

A 解体撤去の必要性については十分認識している。諸事情の中で判断しなければいけない。



一刻を争う「旧阿知ヶ谷焼却施設」の解体

地域包括ケアと 高齢者福祉の今後



おおむらやす し
大村泰史 議員

Q 地域包括ケアを推進する中で地域での取り組みはどうか。

A 市内には33カ所の居場所、2地区で生活支援サービスを実施。

Q 医療と介護の連携への取り組みはどうか。

A 島田市訪問看護ステーションの開設、在宅医療・介護連携相談支援窓口を開設し、医療や介護の専門職からの相談にに応じている。

Q 高齢者による生活支援の担い手への取り組みはどうか。

A 高齢者の参画が必要不可欠。年齢にとらわれず、担い手として地域で活躍することが期待されている。経験や趣味を生かし、できる範囲内で「お互いさまの関係」で支え合える体制づくりへの普及活動に努めている。

ごみの収集を活用

Q 一般家庭からのごみ収集に関連する課題や対応はどうか。



リサイクル！雑紙を資源化へ

A 排出量はほぼ横ばい。資源化を促進する雑紙の分別徹底への普及活動を行っている。

Q 資源集団回収の現状および取り組み状況はどうか。

A 古紙等の資源を集団で回収する団体に対して、収集量に応じて奨励金を交付している。ごみ減量の啓発とリサイクルへの関心を高め、奨励金が活動資金として活用されるよう、制度を継続していく。

耕作放棄地活用で マルシェを成功へ



やまもとたかお 議員
山本孝夫 議員

Q 茶園耕作放棄地が増加している問題点は何か。

A 農業従事者の高齢化や非農家が増加し、農地の借り手がない、お茶に代わる有力な作物が見つからない。

Q 賑わい・交流拠点施設整備の進捗状況はどうか。

A 今年度末までに実施計画基本設計を策定予定だ。

Q 施設を管理する運営会社に島田市は出資するのか。

A 前向きに考えていきたい。

Q 4者以外の出資者はいるのか。

A これも視野に入れて検討中だ。

Q 農産物売るマルシェに島田市は何か支援を考えているか。

A 耕作放棄地対策も含め放棄地等を使い、マルシェ出荷用の作物を栽培することについて補助制度が作れないか検討中だ。

Q 開業予定まであと2年、マルシェを成功させようというならば、新作物の導入や異業種の会社の農業参入、若者グループの農業



現在の賑わい交流拠点施設建設予定地

参加の呼びかけなど島田市として力強い支援が必要ではないか。

A 法人化していくことを推進していく。また、異業種の方が参入することは大いに歓迎するので相談してほしい。

Q 新農産物新商品検討のワーキンググループを設置したらどうか。

A 有志でつくっていただいで提案を市にいただくことは歓迎する。

いじめ問題に 対応できる備えを



ふじもとよしお 議員
藤本善男 議員

Q 市内小・中学校のいじめ件数は、いじめ認知件数は、小学校145件、中学校33件である。

Q 全国的に小学校の件数が増加しているが、島田市はどうか。

A 過去2年間で、小学校2倍、中学校1.7倍と増加している。

Q いじめ問題に対応する市の組織は、どのように機能しているか。

A いじめ問題を学校で調査する場合は、いじめ防止対策委員会に対応する。市教育委員会は、内容に応じて島田市いじめ問題対策専門委員会を開き、市長は必要に応じて、島田市いじめ問題調査委員会を再調査する。

Q 過去、いじめ問題に対応した事例はあるか。

A 体制が整ってから重大事態は報告されていない。

Q いじめ問題調査委員会は、緊急事態に備えられているか。

A 専門知識・経験を有する方の就任の内諾までは得ている。今後、定期的な意思疎通を行いたい。

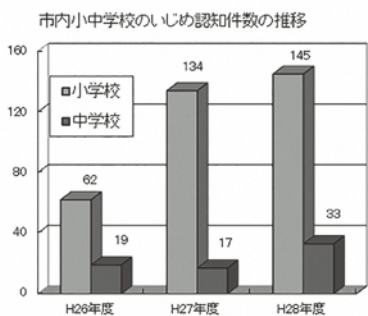
Q 田代の郷整備計画とは？

A スポーツ施設整備に向けたスケジュールは。

Q 設計案の途中経過、最終案を報告し、工事を平成30年度から2力年で実施する予定である。

Q 今後、アクセス向上などの予定はあるか。

A アクセス向上を目的とした施策は、現在予定していない。



市内小中学校のいじめ認知件数は増加傾向

市役所本庁舎、 立て替える方針は



よこた がわまさ と
横田川真人 議員

Q 市役所本庁舎は築55年が経過している。建て替えの必要性を認識しているか。

A 強く認識している。

Q 今後の方向性はどうか。

A PFI（民間の資金や経営能力を活用する手法）の調査が2月に終わる。そのあと基本構想を策定する。

Q 財源はどのように考えているか。

A 交付税措置のある市債の活用を図りたい。

Q 交付税措置があっても借金である。財政の影響は。

A 合併特例債のピークをずらすようにする。また、7割返ってくるとの誤解があるが、実際には82パーセントは市の持ち出しになる。それでもないよりはいい。

Q プラザおおりの今後はどうか。

A 類似施設としてプラザおおり、夢づくり会館、川根文化センターチャリム21がある。集約が図られるべきである。

マラソン開催に疑問

Q 台風直撃の中でのマラソン開催を決めた判断材料は。

A ささまざまな気象情報を集めて判断した。

Q 同じような状況でも、また開催するか。

A どうしてもやるということではない。安全が確保できるか十分吟味して決定する。



今にも浸水しそうな橋の様子

65歳以上の 介護保険料の引き下げを



さくらい よう こ
桜井洋子 議員

Q 特別養護老人ホームの待機者は、直近で14人だ。来年度70床増え、待機者は解消する見込みだ。

Q 介護保険制度が始まって、3年ごとの見直しのたびに65歳以上の介護保険料は引き上げの連続だ。基準額が当初の2倍近くに

A 第7期介護保険料は、基金を活用し、保険料の上昇を抑えている。しかし、地域支援事業費の大幅増加、費用に対する65歳以上の負担割合を国が22から23パーセントに引き上げたこと、基金の額が減少していることから、次期保険料はある程度の増額をお願いすることとなる。

Q 引き下げの引き下げではないか。

A 年齢の負担は限界だ。保険給付費等支払い準備基金（基金）を使い、来年度からの介護保険料を引き下げるべきではないか。

Q 大きな地域経済波及効果のある住宅・店舗のリフォーム助成制度を作るべきだがどうか。

A かつて6年間実施した住宅リフォーム助成制度であるが、木造住宅耐震補強助成事業に移行した。経済波及効果は認めるが、現在の厳しい財政状況の中では実施は難しい。店舗については、現在、中心市街地活性化対策の一つとして、空き店舗改修の補助制度を検討している。

住宅・店舗改修に助成を

Q 地元業者の仕事おこしにもなり、



島田を元気にする体操（しまトレ）の様子

どうなる？ ゆめ・みらい百人会議！



よこやまかおり 議員
横山香理 議員

Q 島田市ゆめ・みらい百人会議のそもそもの目的は何か。

A 市民の皆さまが島田市の未来を自由に語り合い、まちづくりの夢を描く場として創設した。また、次世代を担う人材を育てることに、活動が継承されていくことも目的としている。

Q 第3期島田市ゆめ・みらい百人会議はあるのか。

A 継続は考えていない。次のステージとして、引き続き委員の皆さまには自由に活動し、市民参加のまちづくりにご協力いただきたいと考えている。

Q 百人会議の現在までを通して課題や問題点をどう分析するか。

A テーマ別の分科会で取り組むたい内容と相違が生じた。また関係部署との連携が不十分だった。百人会議は市政にどのような効果をもたらしたか。

A 市民協働のまちづくりへの意識の醸成に大きな影響を与えてきた。そして住みよい島田の実現

に向けて前進する力をいただいた。

Q 継続していききたい委員や分科会の受け皿はどこにあるか。

A 市民活動センターの利用、まちづくり交付金制度がある。意見を伺いながら一緒に進めていきたい。

Q 1期生・2期生が集まり活動を振り返る場は考えるか。

A 設けることも考えていきたい。



百人会議主催のワークショップ

インター周辺土地利用は 地元と共に



しみずただし 議員
清水唯史 議員

Q 島田金谷インターチェンジ周辺地区の用途地域および地区計画の今後のスケジュールは。

A 地元での再度の説明会の後、県との事前協議を経て1月に都市計画の変更案縦覧、審議会開催後、3月末に決める予定だ。

Q 住宅と工場の混在防止策は。

A 新規建物の敷地面積の最低限度を定める対策をとる。現在の地権者の相続などは考慮する。

Q 用途地域の変更は可能か。

A おおむね5年で基礎調査を実施し状況に合った変更を検討する。

Q 事務所などの特定業務施設を移転、拡充した企業への優遇は。

A 地域再生法に基づく地方活力向上地域に指定されているため、各種の減税措置が受けられる。

広域観光戦略でPRを！

Q 島田市が今後、県中部・志太榛原地域連携DMOと共に取り組む活動の内容は。



川根温泉玄関の「茶サービスエリア」のれん

A 担当者と共に、地域の観光経済規模の把握とお茶をキーワードに観光情報の発信を企画している。川根温泉において、島田市商工会と協力したイベント「茶サービスエリア」を企画し、ロゴデザインの制作、食べ物やグッズのデザイン、広報・宣伝で中心的役割を果たした。今後、市内におけるお茶を提供する体制、場所づくりとして同様の企画を検討していきたい。

新病院の医師確保は 大丈夫か？



やぎのぶお 議員
八木伸雄

Q 2年前の建設計画では、医師数を93人から100人にする予定だった。現在は逆に83人だ。病床数などの見直しはないか。

A 計画に合わせた医師確保に努める。診療体制の変更はない。

Q 見直しがないのなら規模に見合う医師の確保が必要だ。待遇改善などの対策はあるのか。

A 職員の研修・休憩用の部屋など職員の要望を取り入れた。給与なども他の病院に劣らない。

Q 人口減少は顕著だ。加えて患者の年齢構成が他市と比較し高齢化している。急性期患者が少ないことはオペの件数内容から見て取れる。大丈夫か。

A 高齢化で入院患者は増える。病床利用率88パーセントを維持できる。

就学援助の支給時期は？

Q 就学援助を必要とする新入学児童を把握しているか。



建設が進められる新病院完成予想図

A 保育園・幼稚園などを通じ年内に調査を開始する。2月ごろまでに申請をしていただく。

Q 最初の子どもなら、親も子どもも入学を楽しみにしている。貧困で準備ができない家庭が不安を持つことのないよう、入学前の支給をすべきと思うがどうか。

A これまで新学期が始まった6月に支給していたが、新入学児童も、既に受給している児童・生徒も3月に支給する。

本庁舎建設は 合併後の総仕上げ！



むらた ちづこ 議員
村田千鶴子

Q 本庁舎建設に関わる問題は、合併の総仕上げとなる行政機能の集約で、一連の検討の中で、旧金谷庁舎は考慮されているのか。

A 旧金谷庁舎の解体を本庁舎機能の更新に係る一連の事業と位置付けている。

Q 金谷地区の2つの支所、川根支所の今後についてはどうか。

A 金谷南・北支所は旧金谷庁舎跡地利用において統合する。川根支所は存続していく。

Q 新病院建設も始まり、今後の財政見直しはどうか。

A 市債の償還によって、財政が圧迫されないようコントロールし、平成32年度までは合併特例債、それ以降は合併推進債を活用。

生かされた働き方改革を

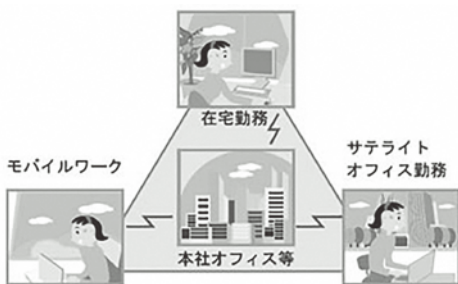
Q 当市の非常勤職員の男女比（11月1日現在）は、病院事業を除いて454人中女性が78パーセントである。多様な働き方が求

められる中、弾力的に人材活用できるような能力経験に応じた処遇改善・賃金体系の検討が必要と考える。非常勤職員の処遇改善の予定は。

A 地方公務員法改正が予定され、平成32年度から「会計年度任用職員」制度が導入され、月給・手当・休暇等見直される。

Q 柔軟な働き方推進に向け、職員にテレワーク制度の導入は。

A 可能性を探っていきたい。



※一般社団法人日本テレワーク協会HPから転載

時間や場所にとらわれない柔軟な働き方

総合計画後期基本計画の 進捗状況は



さいとうかずと 議員

Q 平成29年度は後期基本計画の最終年度に当たるが、進捗状況と今後の計画について伺う。

A 減便と時刻、経路の変更が原因で減少したと思われる。川根温泉線の家山駅周辺への乗り入れ、向谷郵便局、島高前、稻荷町、河原町経由への経路変更をし、1日6往復、12便とする。

Q 観光交流人口が平成24年度は244万5000人、平成28年度は284万9000人と増加しているが、経済効果は。

A 平成28年度は島田大祭の開催年度であったことが大きな要因であるが、川根温泉ホテルの開業や大井川鐵道「ぎかんしゃトーマス」の運行も寄与している。しかし地域経済への貢献には至っていない。稼げる観光の実現を目指していきたい。



稼げる観光を目指して！

行政経営戦略行動計画は

Q 総合計画を進めるに当たり、組織改革を行うとともに職員の人材育成に努めているが、研修の進捗状況と計画はどうか。

A 地方創生枠を設けて民間経験者の採用を行っている。また、戦略的な都市経営の教育を目的としている団体に職員を派遣している。今後も進めていきたい。

市の補助金は

このままで大丈夫？



かわむらほるお 議員

Q 島田市行政経営戦略行動計画の中の財政健全化の效果的・効率的な取り組みとして、補助金の指針の見直しが未実施である。改正版はいつごろになるか。

A 平成29年度中に完了する予定である。

Q 補助金を受ける組織・団体は、独自で活動できる一定期間、補助または補助額を徐々に減らしていく考えはないか。

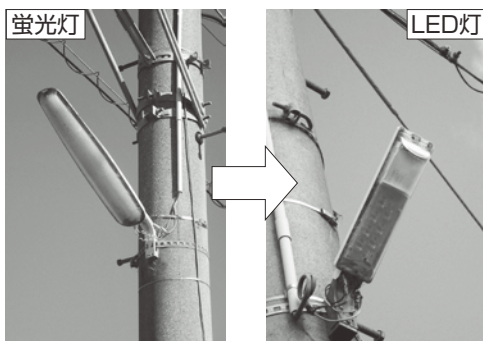
A 指針では原則として3年間、補助の目的や団体の性質を踏まえ、先進事例を参考にし、さらなる調査研究をしていく。

Q 補助金を受ける組織・団体の育成は。

A 補助金がないと運営できないことではやはり困る。本来の趣旨は、独り立ちするまでのものであったはず。市としても指導と助言をしていく。

Q 防犯灯のLED化の現状は。

A 例年、850灯ほどの設置要望に対して、毎年度の実績を勘案



防犯灯にも補助金が支払われています

して、約500灯分の補助金を予算化している。少しでも早い完全LED化を目指し、財源の確保、推進に努めていく。

Q 小・中学校の一般教室への空調機設置を第2次島田市総合計画に組み入れていく考えはないか。

A 教育環境適正化ということで検討しており、早めに検討して設置をしていく方向で考えたい。

要望や意見を聴取する 最良な手段は



すぎの なおき 議員
杉野直樹 議員

Q サイレント・マジョリティーという言葉があるが、ご存じか。

A 市が上がってくるべきだと考えているか。

Q 物言わぬ多数派と呼ばれている。そういった方から意見を聴取できるのがアンケート調査の優れた点であると認識しているが市ではどのように考えるか。

A 地域の皆さまには自治会を通じて検討した後、地域住民の理解や協力体制が整った段階で、自治会からすぐやる課へ要望書を提出していただいている。緊急な案件は、直接市民から要望をいただいで、迅速に対応している。この方法が一番適切である。

Q 日ごろ、声を聞けない市民からの意見等を幅広く集めるということについては、アンケートが一番簡単で有効な手法であると考えている。当市では、高齢者の方に回答が偏っている傾向にある。このことが行政の計画に高齢者の意見がより多く反映する可能性につながることも考えられ課題である。

Q 有償で無作為抽出による市民を招いて意見を聴取してはどうか。

A 無作為抽出型も含め市民参画の手法について、今後前向きに調査研究をしていく。

Q 本来、道路や水路などの整備に関する要望は、どのような形で

A 地域の方々には自治会を通じて検討した後、地域住民の理解や協力体制が整った段階で、自治会からすぐやる課へ要望書を提出していただいている。緊急な案件は、直接市民から要望をいただいで、迅速に対応している。この方法が一番適切である。

Q 有償で無作為抽出による市民を招いて意見を聴取してはどうか。

A 無作為抽出型も含め市民参画の手法について、今後前向きに調査研究をしていく。

Q 本来、道路や水路などの整備に関する要望は、どのような形で

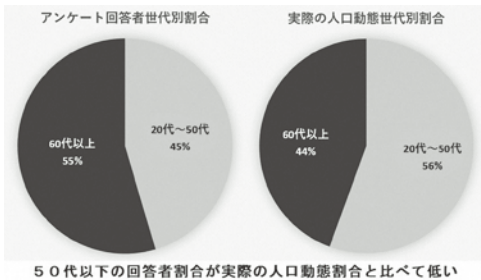
A 地域の方々には自治会を通じて検討した後、地域住民の理解や協力体制が整った段階で、自治会からすぐやる課へ要望書を提出していただいている。緊急な案件は、直接市民から要望をいただいで、迅速に対応している。この方法が一番適切である。

Q 有償で無作為抽出による市民を招いて意見を聴取してはどうか。

A 無作為抽出型も含め市民参画の手法について、今後前向きに調査研究をしていく。

Q 本来、道路や水路などの整備に関する要望は、どのような形で

A 地域の方々には自治会を通じて検討した後、地域住民の理解や協力体制が整った段階で、自治会からすぐやる課へ要望書を提出していただいている。緊急な案件は、直接市民から要望をいただいで、迅速に対応している。この方法が一番適切である。



50代以下の回答者割合が実際の人口動態割合と比べて低い

市民アンケート、世代分析

小中学校での 「がん教育」の推進を



おおせききぬ よ 議員
大関衣世 議員

Q 「がん教育」導入の効果と課題はどのように考えるか。

A うように努めていきたい。

Q 「がん教育」の今後の取り組みはどうか。

A 障がい者との共同学習を

Q 「がん教育」の今後の取り組みはどうか。

A 障がい者や高齢者との交流を通して、助け合う心を育てたい。

Q 「がん教育」の今後の取り組みはどうか。

A 障がい者や高齢者との交流を通して、助け合う心を育てたい。

Q 「がん教育」の今後の取り組みはどうか。

A 障がい者や高齢者との交流を通して、助け合う心を育てたい。

Q 「がん教育」の今後の取り組みはどうか。

A 障がい者や高齢者との交流を通して、助け合う心を育てたい。

Q 「がん教育」の今後の取り組みはどうか。

A 障がい者や高齢者との交流を通して、助け合う心を育てたい。

Q 「がん教育」の今後の取り組みはどうか。

A 障がい者や高齢者との交流を通して、助け合う心を育てたい。

Q 「がん教育」の今後の取り組みはどうか。

A 障がい者や高齢者との交流を通して、助け合う心を育てたい。



清水興津中学校2年生の「がん教育」授業

牛尾実験所の意義を 後世に伝えよう



もり しんいち 議員

Q 第二海軍技術廠牛尾実験所跡の歴史的な意義の紹介について市としてどう考えているか。

A 実験所において行われてきた軍事技術の電波研究は、その後、民生技術に転用されている。また、こうした歴史的事実を市民等に広く周知できるように、関係部署と協議・検討を行っている。

Q 牛尾の場所は、新東名島田金谷インターチェンジ周辺地区開発事業の工場用地と公園緑地という位置付けになっている。実験所の記念碑などを公園内のどこかに設置する案はどうか。

A 今後開削をするような道路沿いの一部に看板設置を含め検討したい。

Q 賑わい・交流拠点周辺にいくつか観光ポイントがあれば来場者も増える。五和駅、ジャンボ干支そして牛尾の実験所記念碑や展望台がこれらの候補となると思うがどうか。

A 周遊コースの検討をしていきたい。



掘削後の牛尾実験所付近（16年12月）

Q 交流拠点施設の事業について金谷だけではなく旧島田や川根の人たちの意見も聞くような機会を設ける予定はあるか。

A 実施計画がはつきりできた時点では、いろいろな場面での説明をさせていただき、市民の皆さまから意見もお聞きしたい。

まちづくりの鍵は「農業と観光」



まさの よしはる 議員

Q 耕作放棄地でも、周辺の理解が得られ、手に負えない農地は、国の判定基準に基づく再生利用困難なB分類にできないか。

A 判定基準に基づいた、非農地化の事務処理を進め、農地台帳と合わせて外していく。

Q 土地改良法が改正されて、農家負担Ⅱゼロで基盤整備できると知った。これから策定する関連計画への取り組みを伺う。

A 農業生産基盤の整備開発計画に盛り込む。

Q 青地内（農業振興地域内の農用地）の農地活用により、新たなまちづくりや地域活性化はできないか。

A 6次産業化施設（生産・加工・販売を一体化した施設）であれば青地農地でも農地転用は可能で、施設建設はできる。

Q 蓬萊橋の運営面で、ギネス登録の前後を比べた違いを伺う。

A 認定は平成9年12月30日。平成8年の渡橋者数4万2000人が、平成28年15万8000人。登録前の資料はない。

Q 広報はまだ10月号の記事に「左岸整備完了後、右岸の整備をすす」とあった。事業内容を伺う。

A 現段階で整備計画はない。

Q 市民から観光道路、進入道路、観光施設、駐車場、便所等の設置を望む声を聴くがどうか。

A 整備をして行く上で必要な施設だと認識する。



整備中の蓬萊橋左岸

調査報告

総務生活常任委員会

市役所本庁舎立て替えを見据えて

●10月4日 埼玉県秩父市

庁舎と市民会館の合築

秩父市の新庁舎は今年の3月に竣工しました。事業費は65億3000万円であり、市民会館との合築です。会議室や執務室の配置を上げることで災害時には対策本部として機能します。建物と駐車場の配置についても配慮されていて、普段においても秩父夜祭の花火が駐車場から見えるようにし、災害時には公園と駐車場が活動の場となるように配置しています。

1階部分が狭いところがありますが、2階以上は広くなっています。その理由として、コスト削減のため庁舎必要面積を国の基準よりも約3000平方メートル削減したことでした。

●10月5日 埼玉県志木市

合築を取りやめ

志木市では庁舎建設の計画段階ですが、市民会館との合築を取り



秩父市役所の新庁舎

やめた事例です。建て替えの際、市民会館用地に合築を考えていましたが、市民会館用地では面積が足りず現地建て替えとしました。次に合築の場合、事業費が125億円とあまりにも高額であったので、市庁舎単独での建て替えとなりました。単独の場合の事業費は70億円です。

島田市において、庁舎の建て替えを検討するに当たって、コストと財源、建物の配置等に配慮する必要があると感じました。

調査報告

厚生教育常任委員会

子育て支援の先進地へ視察に

●10月4日 大阪府守口市

保育園、幼稚園の無償化

守口市では、子育てに係る保護者などの経済的な負担を緩和し、安心の子育てと子育てを実現するため、また子育て世代の定住を促進し、活力と成長のまちを実現するための施策を実施しています。平成29年4月から世帯所得などに関係なく、0から5歳児の認定こども園・保育園（所）・幼稚園・小規模保育事業所の保育料・授業料（基本部分）の利用者負担額を無償としています。

●10月5日 岡山県備前市

さまざまな手法で子育て支援

備前市では、妊婦さんや子育てをしている母親が、保育園をマイ保育園として登録し、出産前から子どもが4歳になるまで、子育てについて不安の多い時期に保育士から継続的に支援を受けることができる「マイ保育園サポート事業」



備前市での視察風景

を平成19年11月から実施しています。平成20年度からは子育て応援隊登録制度をスタートし、市民の豊かな知識や趣味、特技を生かしていたりするために応援隊としての登録を願ひし、要望のある地域の子育て親子にさまざまな形で子育て支援活動を行っています。

両市への視察を終え、今後も島田市に合った子育てに優しい、子育てしやすい環境の整備に向けて調査・研究していくことが必要と感じました。

議会と語る会

『議会と語る会』が、11月18日に市内5カ所、25日に1カ所で開催されました。延べ240名に参加していただきありがとうございます。参加した全員のご意見をお聞きすることができませんでしたが、各地区からの課題については、引き続き目に見える成果を求め続けていきます。

会 場 島田第一中学校 地域連携室

参加議員 藤本善男・大関衣世・齊藤和人

横田川真人

参加者数 70名（男性65名・女性5名）

意見交換の内容

- ・ 田代の郷整備事業について
- ・ 島田市自治基本条例について
- ・ コミュニティバスについて
- ・ 金谷大代川の浚渫しゅせつについて

会 場 初倉公民館 第一・二集会室

参加議員 福田正男・八木伸雄・伊藤孝

横山香理

参加者数 53名（男性42名・女性11名）

意見交換の内容

- ・ デマンド交通（実証実験中）について
- ・ 道路環境について
- ・ 議会と語る会について
- ・ リニア新幹線について
- ・ 当局と企業のコミュニティについて

会 場 金谷公民館 集会室3

参加議員 清水唯史・山本孝夫・杉野直樹

大村泰史

参加者数 33名（男性31名・女性2名）

意見交換の内容

- ・ 新東名島田金谷インターチェンジ周辺開発について
- ・ 議会報告会について
- ・ 当局と議会の関係について
- ・ 旧金谷庁舎について
- ・ コミュニティバスについて



熱く語られた島田のまちづくり、地域の課題



会 場 六合公民館 第一集会室

参加議員 平松吉祝・曾根嘉明・桜井洋子

河村晴夫

参加者数 29名（男性28名・女性1名）

意見交換の内容

- ・通学路について
- ・期日前投票について
- ・保育園の建設について
- ・東光寺谷川について
- ・六合南北の交通整備について
- ・道悦地区の区画整理について
- ・東光寺インターチェンジのフルインテ
ー化について
- ・ローズアリーナ改修期間中の対応につ
いて
- ・市民病院の医師不足について



会 場 市役所会議棟 大会議室

参加議員 大石節雄・村田千鶴子

佐野義晴・森伸一

参加者数 31名（男性29名・女性2名）

意見交換の内容

- ・河川土手の除草について
- ・大津谷川等河川内整備について
- ・蓬萊橋周辺の整備について
- ・東海パルプ横井工場跡地について
- ・土地利用のあり方について
- ・市民病院について
- ・財政について
- ・育児・介護について
- ・若者の集う場所について
- ・島田球場の改築について
- ・議員の一般質問について

11/25
(土)



会 場 川根地域交流センター 抜里

参加議員 福田正男・大石節雄・八木伸雄

横田川真人

参加者数 24名（男性23名・女性1名）

意見交換の内容

- ・自主運行バスについて
- ・移住定住促進について
- ・道路整備について
- ・消火栓の活用について
- ・お茶の復興について

※各会場の報告は市議会ホームページでごらんいただけます

議会活動レポート

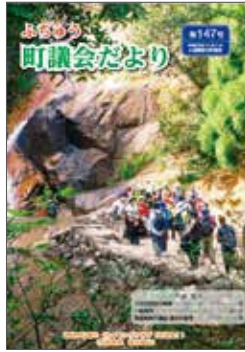
10/27 (金)

広島県府中町議会が『しまだ議会だより』の視察に来島

議会報特別委員会 上原 貢委員長をはじめ6人の議員の皆さんが当市議会だよりの『リニューアルの軌跡と編集の方法』について視察に訪れ、研修・意見交換を行いました。

今まで視察に来島していただいた他議会と同様に、当市議会だよりの『表紙と1・2ページ目が常任委員会の持ち回りで担当する点』に多くの質問をいただきました。併せて、意見交換で府中町議会の編集方針を勉強させていただきましたので、当市議会だよりに生かして行きたいと思えます。

皆さまのご意見をお寄せください。



ふちゅう町議会だより (表紙・1ページ目・一般質問)

編集後記

11月定例会は、17人の議員が一般質問に登壇し、市政について活発に議論しました。また、上程された補正予算、条例改正、公の施設の管理運営を委託する指定管理者の選定などの議案に対して、市民の税金がより効率的・効果的に使われ、市民福祉の向上に寄与するかの観点から慎重に審査しました。議会が活発に活動し、その内容を「読みやすく、わかりやすく、」お伝えするのが、私たち編集委員会の仕事です。ぜひご一読ください。



議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 桜井 洋子
- 【副委員長】 伊藤 孝
- 【委員】 大関 衣世 河村 晴夫
齊藤 和人 大石 節雄

2月市議会定例会傍聴のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！

傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場(市役所3階)へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
2/11	12	13	14	15	16	17
	振替休日				本会議 (初日)	
18	19	20	21	22	23	24
	常任委員会 (午前・厚生教育 午後・経済建設)	常任委員会 (午前・総務生活 午後・予備)				
25	26	27	28	3/1	2	3
		本会議 (予算説明会)				
4	5	6	7	8	9	10
			本会議 (一般質問・個人)	本会議 (一般質問・個人)	本会議 (一般質問・個人)	
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 (議案質疑)	常任委員会 (厚生教育)	常任委員会 (経済建設)	常任委員会 (総務生活)	常任委員会 (予備)	
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
		本会議 (最終日)				

☆開会時間は…

本会議 9:30 常任委員会 9:30・13:30

あなたのパソコン・スマホ等で、オンラインでも傍聴できます。

水色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。